

TALON
カスタマイズ放題在庫管理システム
Ver.1.0 マニュアル

株式会社 HOIPOI

第1.1版

1 目次

1	目次	2
2	はじめに	4
3	システムの概要	5
3.1	在庫管理システムについて	5
3.2	メニューについて	6
4	機能一覧	7
4.1	機能一覧	7
5	テーブル一覧／テーブル関連図	8
5.1	テーブル一覧	8
5.2	テーブル関連図	9
5.2.1	マスタ関連図	9
5.2.2	トランザクションテーブル関連	10
6	セットアップ手順	11
6.1	事前準備	11
6.2	製品の内容物	11
6.3	機能の登録	13
6.4	テーブルの作成とデータの整備	14
6.5	作成したテーブルへの権限設定	16
7	マスタ管理について	17
7.1	倉庫マスタメンテナンス	17
7.2	倉庫マスター一覧	18
7.3	品目マスタメンテナンス	19
8	入庫系の画面について	20
8.1	入庫入力	20

8.2	バーコード入庫入力.....	22
8.3	一括入庫入力.....	23
9	出庫系の画面について.....	24
9.1	出庫入力.....	24
9.2	バーコード出庫入力.....	26
9.3	一括出庫入力.....	27
10	倉庫間移動・在庫振替について.....	28
10.1	倉庫間移動入力.....	28
10.2	在庫振替入力.....	30
10.3	在庫振替一覧.....	31
11	棚卸の画面について.....	32
11.1	棚卸開始入力.....	32
11.2	棚卸データ一覧.....	33
11.3	棚卸入力.....	34
11.4	棚卸確定処理.....	35
12	照会系の画面について.....	36
12.1	在庫一覧.....	36
12.2	品目別在庫集計.....	37
12.3	入出庫履歴一覧.....	37
12.4	在庫集計一覧.....	39
13	他機能で利用する機能.....	40
14	管理者用の在庫メンテナンス.....	41
15	改版履歴.....	42

2 はじめに

TALON カスタマイズ放題在庫管理システム（以下、在庫管理システム）は、超高速開発・運用ツール「TALON」の無料オプションプログラムとなります。ご利用には TALON 本体が必要となります。

当プログラムはすべて TALON の機能で構築されており、セットアップ後に TALON の機能構築画面より自由に機能をカスタマイズ、追加頂くことが可能となっています。

当プログラムのご利用にあたりましては利用規約に同意いただく必要があります。最新の規約は TALON ホームページに掲載されておりますのでご確認ください。（https://www.talon.jp/p09_license_agreement.html）

在庫管理システムの特徴は以下の通りです。

- 倉庫、ロケーション(棚番)別に在庫を管理することが可能です。
- 同一の品目であっても、ロット番号を指定することでロット単位での在庫管理が可能です。
- 入庫・出庫が発生するタイミングで、同時に入出庫履歴を作成します。
- 倉庫間移動、在庫振替の機能を用意しています。
- 棚卸機能を用意しています。
- 様々なデータベース上で動作させる事が可能なので、自社の環境に合わせたご利用が可能です。
※対応データベース：Oracle、SQLServer、MySQL

※TALON Ver5.0 以降で動作確認しております。

※当マニュアルの画面イメージは実際の画面と異なる場合がありますのでご了承ください。

※当マニュアルは Oracle 版にて実行した画面を取得しています。ブラウザは Chrome となります。

3 システムの概要

3.1 在庫管理システムについて

TALON 在庫管理システムは、大きく6つの機能グループで構成されています。

それぞれの機能グループは、マスタ機能、入庫機能、出庫機能、倉庫移動・振替機能、照会機能、棚卸機能の6つとなっています。下記に概要を説明します。

【マスタ機能】

倉庫マスタ、ロケーションマスタ、品目マスタのメンテナンス機能を用意しています。

【入庫機能】

新規に在庫を登録する入庫入力、既存の在庫をバーコードで検索して入庫するバーコード入庫入力、Excel 更新を利用して複数データを入庫する一括入庫入力を用意しています。

【出庫機能】

p-key 指定で出庫を行う出庫入力、バーコードで検索して出庫するバーコード出庫入力、Excel 更新を利用して複数データを出庫する一括出庫入力を用意しています。

【倉庫移動・振替機能】

既存の在庫の倉庫・ロケーション移動時に利用する倉庫間移動入力を用意しました。

また、在庫の廃棄や入庫・出庫取消などで利用する振替機能も用意しています。

【照会機能】

在庫の一覧を確認するための照会機能を複数用意しています。また入庫・出庫ごとに発生する履歴を参照する画面も用意しました。

【棚卸機能】

開始時点の在庫を基準在庫として、棚卸入力を行い、差異を在庫に反映する棚卸機能です。

棚卸リストと棚卸結果リストの出力が可能となっています。

3.2 メニューについて

在庫管理システムのメニューについて説明します。

TALON 在庫管理システムをセットアップすると、「system : システム管理」のグループ ID を持つユーザのメニューに「在庫管理システム」という機能グループ名のメニューが表示されるようになっています。システム管理以外のグループのユーザにメニューを表示したい場合、適宜、メニューを作成して下さい。

TALON のメニュー・権限については「200_TALON_権限_メニュー関連マニュアル」をご確認下さい。

※セットアップ後の初期メニュー体系（TALON 標準機能のメニューは除く）

機能グループ	機能名
マスタ関連	倉庫マスタメンテナンス
	倉庫マスター一覧
	品目マスタメンテナンス
-----	-----
入庫関連	入庫入力
	バーコード指定での入庫入力
	一括入庫入力
-----	-----
出庫関連	出庫入力
	バーコード指定での出庫入力
	一括出庫入力
-----	-----
移動・振替入力	倉庫間移動入力
	在庫振替入力
	在庫情報メンテナンス
-----	-----
在庫一覧	在庫一覧
	品目別在庫集計
	在庫集計一覧
	入出庫履歴一覧
	在庫振替一覧
-----	-----
棚卸関連	棚卸開始入力
	棚卸入力
	棚卸データ一覧
-----	-----

4 機能一覧

4.1 機能一覧

	カテゴリ	機能 ID	機能名
1	マスタ画面	IMS_M010	[IMS]倉庫マスタメンテナンス
2		IMS_M011	[IMS]倉庫マスター一覧
3		IMS_M020	[IMS]品目マスタメンテナンス
4	検索子画面	IMS_S010	[IMS]倉庫検索子画面
5		IMS_S011	[IMS]ロケーション検索子画面
6		IMS_S012	[IMS]品目検索子画面
7		IMS_S013	[IMS]在庫検索子画面
8		IMS_S014	[IMS]棚卸検索子画面
9	トランザクション画面	IMS_T010	[IMS]在庫メンテナンス(管理者用)
10		IMS_T011	[IMS]入庫入力
11		IMS_T012	[IMS]入庫処理機能
12		IMS_T013	[IMS]入出庫履歴作成機能
13		IMS_T014	[IMS]バーコード入庫入力
14		IMS_T015	[IMS]一括入庫入力
15		IMS_T016	[IMS]入庫処理機能(排他無)
16		IMS_T021	[IMS]出庫入力
17		IMS_T022	[IMS]出庫処理機能
18		IMS_T024	[IMS]バーコード出庫入力
19		IMS_T025	[IMS]一括出庫入力
20		IMS_T030	[IMS]在庫情報メンテナンス
21		IMS_T031	[IMS]倉庫間移動入力
22		IMS_T032	[IMS]在庫振替入力
23		IMS_T033	[IMS]在庫振替機能
24		IMS_T040	[IMS]棚卸開始入力
25		IMS_T041	[IMS]棚卸入力
26		IMS_T042	[IMS]棚卸確定処理
27	一覧画面	IMS_T043	[IMS]棚卸データ一覧
28		IMS_T050	[IMS]在庫一覧
29		IMS_T051	[IMS]在庫集計一覧
30		IMS_T052	[IMS]品目別在庫集計
31		IMS_T053	[IMS]入出庫履歴一覧
32		IMS_T054	[IMS]在庫振替一覧
33	帳票	IMS_T011.jasper	現品票
34		IMS_TANAOROSI_LIST.xlsx	棚卸リスト
35		IMS_TANAOROSI_KEKKA_LIST.xlsx	棚卸結果リスト

※他の機能と区別するために、機能 ID には[IMS]を付与しています。

※TALON 標準機能は含めていません。

5 テーブル一覧／テーブル関連図

5.1 テーブル一覧

在庫管理システムで利用するテーブルです。

	テーブル I D	テーブル名	概要
1	IMS_M_SOKO	IMS_倉庫マスタ	
2	IMS_M_LOCATION	IMS_ロケーションマスタ	
3	IMS_M_ITEM	IMS_品目マスタ	
4	IMS_T_ZAIKO	IMS_在庫	
5	IMS_T_NYUSYUKKO_HIST	IMS_入出庫履歴	
6	IMS_T_FURIKAE	IMS_在庫振替	
7	IMS_T_FURIKAE_WK	IMS_在庫振替ワーク	※ワークテーブル
8	IMS_T_TANAOROSI	IMS_棚卸管理	
9	IMS_T_TANAOROSI_M	IMS_棚卸明細	
10			

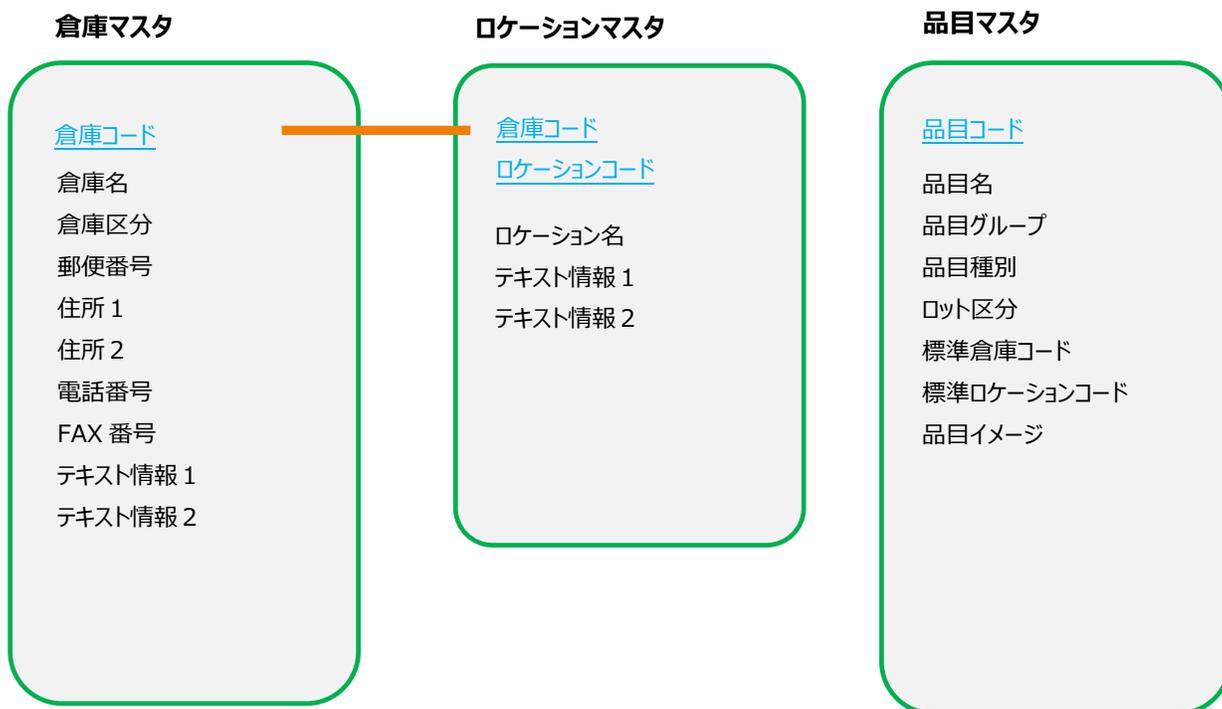
※TALON 標準で利用するテーブルについては、省略しています。

5.2 テーブル関連図

下記にテーブルの関連図を示します。

5.2.1 マスタ関連図

【マスタ関連】



【トランザクション関連】

在庫テーブル

[倉庫コード](#)
[ロケーションコード](#)
[品目コード](#)
[ロット番号](#)

入庫数量
出庫数量
在庫数量
在庫単価
在庫金額
最新入庫日
最新出庫日
テキスト情報 1
テキスト情報 2
日付情報 1
日付情報 2
バーコード値
引当数量
引当可能数
単位コード

在庫振替

[在庫振替番号](#)

倉庫コード
ロケーションコード
品目コード
ロット番号
振替日
振替増減区分
振替区分
振替数量
振替単価
振替金額
摘要

入出庫履歴

[入出庫履歴番号](#)

入出庫区分
振替区分
倉庫コード
ロケーションコード
品目コード
ロット番号
入出庫日
入出庫数量
入出庫単価
入出庫金額
単位コード
符号付入出庫数量
符号付入出庫金額
在庫振替番号
棚卸管理番号
テキスト情報 1
テキスト情報 2
日付情報 1
日付情報 2

棚卸管理

[棚卸管理番号](#)

棚卸基準日時
棚卸状態区分
棚卸完了日時
倉庫コード
摘要

棚卸明細

[棚卸管理番号](#)
[倉庫コード](#)
[ロケーションコード](#)
[品目コード](#)
[ロット番号](#)

在庫数量
在庫単価
在庫金額
実棚数量
実棚単価
実棚金額
差分数量
差分金額
単位コード

6 セットアップ手順

6.1 事前準備

TALON 在庫管理システムのセットアップは、事前に以下の準備が完了している必要があります。

- TALON Ver5.0.0 以上のバージョンがセットアップ済みであること
※バージョンの確認は、機能設定画面の右上にある「About TALON」にマウスを当てると表示されます。
- TALON リポジトリ移送機能がセットアップ済みであること
※セットアップ後、機能構築権限を持ったユーザーでログインするとメニューの「機能構築」にメニューが設置されます。
- TALON 標準ファンクションがセットアップ済みであること

6.2 製品の内容物

TALON 在庫管理システムでは以下のモジュールを提供します。

トップフォルダ : TALON_IMS

サブフォルダ : 10.Document

・10.TALON_IMS_Manual.pdf

→当マニュアルになります。

サブフォルダ : 20.TALON_Module

TALON 在庫管理システムのセットアップに必要な物が格納されています。

・10.Repository フォルダ

→ TALON_IMS_V1_0_0 フォルダ

機能をセットアップするためのリポジトリデータになります。

※Windows 版 MySQL を利用時は lowercase フォルダの TALON_IMS_V1_0_0 を利用して下さい。

※V1_0_0 はバージョン番号ですので最新の物は番号が違う可能性があります。

・20.Report フォルダ

帳票の原紙ファイルが格納されています。所定の場所に配置して下さい。

→ excelprint フォルダ Excel 帳票の原紙です。

→ jasperprint フォルダ JasperReport 帳票の原紙です。

→ jasperprint のソースフォルダ JasperReport 帳票のソースファイルです。※配置の必要はありません

・30.Docroot フォルダ

セットアップ時に使用する画像ファイルをサーバにアップします。フォルダ内の「usr」フォルダを payara の docroot 配下に配置して下さい。

→ 例) C:¥payara5¥glassfish¥domains¥production¥docroot¥usr¥ims のような構成になります。

・40.ext フォルダ

現品票のバーコードを出力するために必要な jar となります。「ext」フォルダ内の jar ファイルを payara の ext 配下に配置して下さい。配置後はサービスの再起動を実施して下さい。

→ 例) C:¥payara5¥glassfish¥domains¥production¥lib¥ext

6.3 機能の登録

TALON 在庫管理システムの機能をインストールします。TALON のリポジトリ移送機能を利用します。

提供したリポジトリデータを IF ファイルとして設定したフォルダの配下に置き、機能を実行します。IF ファイルを置くフォルダは TALON のセットアップマニュアル通りに構築した場合は、Windows の場合、C:¥TALON¥IF、Linux の場合、/home/TALON/IF となります。

① リポジトリデータの配置を行う。

提供したリポジトリデータは TALON_IMS_V1_0_0 のような名前となっていますので、リポジトリ取り込みできるように、C:¥TALON¥IF¥REPOSITORY¥TALON_IMS_V1_0_0 として配置します。

② リポジトリ取込画面を開く

配置が完了したら、TALON の機能構築権限を持ったユーザで TALON にログインして、メニューから機能構築 → TALON リポジトリ移送データ取込 を開きます。**※システム管理グループ(system)のユーザーで実行してください。**

③ リポジトリ取込を実行する

TALON リポジトリ移送データ取込 画面の「リポジトリ識別名」に提供したリポジトリのフォルダ名をセットし、ユーザ情報取込にチェックを入れて「検索」ボタンを押下します。

リポジトリ識別名は「TALON_IMS_V1_0_0」です。(1_0_0 はバージョン番号なので提供したデータによって異なりますので変更してください)

The screenshot displays the 'TALON リポジトリ移送データ取込' (TALON Repository Transfer Data Acquisition) screen. At the top, there is a search condition section with a dropdown for '移送ファイル名' (Transfer File Name) set to 'TALON_IMS_V1_0_0' and a 'リポジトリID' (Repository ID) field set to '0'. Below this is a table titled 'リポジトリ移送データ取込対象' (Repository Transfer Data Acquisition Targets). The table has columns for '対象' (Target), 'タイプ' (Type), 'ユーザ権' (User Rights), '移送データ作成日' (Transfer Data Creation Date), '既に存在' (Already Exists), '機能/階層/識別' (Function/Level/Identifier), and '機能名/階層名/識別名' (Function Name/Level Name/Identifier Name). All '対象' checkboxes are checked. At the bottom right, there is a blue button labeled 'リポジトリ取込' (Repository Transfer).

対象	タイプ	ユーザ権	移送データ作成日	既に存在	機能/階層/識別	機能名/階層名/識別名
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_M000	[IMS]在庫管理システム セットアップ・初期化
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_M010	[IMS]倉庫マスタメンテナンス
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_M011	[IMS]倉庫マスタ一覧
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_M020	[IMS]品目マスタメンテナンス
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_S010	[IMS]倉庫検索子画面
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_S011	[IMS]ロケーション検索子画面
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_S012	[IMS]品目検索子画面
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_S013	[IMS]在庫検索子画面
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_S014	[IMS]棚卸検索子画面
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_T010	[IMS]在庫メンテナンス(管理者用)
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_T011	[IMS]入庫入力
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_T012	[IMS]入庫処理機能
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_T013	[IMS]入出庫履歴作成機能
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_T014	[IMS]バーコード入庫入力
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_T015	[IMS]一括入庫入力
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_T016	[IMS]入庫処理機能(非他無)
<input checked="" type="checkbox"/>	機能ID		2018/01/18 11:35:20	○	IMS_T021	[IMS]HJ入庫入力

対象にすべてチェックを付けて「リポジトリ取込」ボタンを押下すると機能がセットアップされます。

バージョンアップの場合はすでに機能が存在していますので「既に存在」列に○がついていますので誤ってカスタマイズしてある機能に意図しない上書きをしないように注意してください。

6.4 テーブルの作成とデータの整備

リポトリ移送データ取り込みでインストールされた[IMS]在庫管理システムセットアップ・初期化の機能で使用するデータベース環境の構築を行います。

※システム管理グループ(system)のユーザーで実行してください。

<新規にインストールする場合>

- ① [IMS]在庫管理システム セットアップ・初期化 画面を開く。
メニューの「機能利用」>「機能呼出画面」を開き、機能名に「[IMS]在庫管理システム セットアップ・初期化」を入力し画面上の空白部分をクリックすることで画面が起動します。
- ② セットアップを実行する。
開いた画面にある「セットアップ・初期化」ボタンを押下します。これにより在庫管理システムで使用するテーブル等がデータベースに作成されます。
※在庫管理システムに関係するテーブルの再構築が実行されます。全データが初期化されますのでご注意ください。
- ③ メニュー・サンプルマスタの登録を実行する。
「サンプルデータ登録」ボタンを押下することでメニューデータとサンプルのマスタデータが登録されます。
サンプルマスタが不要な場合は、「サンプルデータ削除」を実行して下さい。
サンプルマスタを登録すると[IMS]品目マスタメンテナンスからすぐに入庫入力が可能となります。

<既にインストールされた環境に再インストールする場合 (DB 環境が Oracle・MySQL の場合) >

※DB 環境が Oracle・MySQL の場合、機能の再インストールは上記「6.3 機能の登録」を再実行します。

<既にインストールされた環境に再インストールする場合 (DB 環境が SQLServer の場合) >

※DB 環境が SQLServer の場合、機能の再インストールは上記「6.3 機能の登録」を実施し、下記パッチも合わせて実行する必要があります。

- ④ [IMS]在庫管理システム セットアップ・初期化 画面を開く。
メニューの「機能利用」>「機能呼出画面」を開き、機能名に「[IMS]在庫管理システム セットアップ・初期化」を入力し画面上の空白部分をクリックすることで画面が起動します。
- ⑤ 「セットアップパッチ (SQLServer) 」を実行します。

※[IMS]在庫管理システム セットアップ・初期化 の画面イメージ



6.5 作成したテーブルへの権限設定

テーブルの登録が正常に終了したら、登録したテーブルへの更新権限を設定します。グループ ID「system」に対して機能が構築されますので、「system」グループ ID に対して登録したテーブルへの更新権限をセットします。

- ① 機能構築権限を持ったユーザーで TALON にログインし、メニューの機能構築にある「テーブル更新権限設定」画面を開きます。
- ② 検索条件の「グループ」を対象のグループにセットして「検索」ボタンを押下。
- ③ テーブル名ブロックの明細から「IMS」で始まる行すべての更新列、構成列にチェックを付けて「確定」ボタンを押下。

※TALON 在庫管理システムを利用するすべてのグループで実施してください。

以上でセットアップは完了となります。

システム管理グループのユーザでログインし、メニューに「3.2 メニューについて」の機能が存在し、各画面が開くことを確認してください。また、各機能については当マニュアルの該当ページの内容をご確認下さい。

7 マスタ管理について

TALON 在庫管理システム内で利用するマスタをメンテナンスするための機能となります。

以下に各主要画面についてそれぞれ解説します。TALON 標準で提供される機能についての説明は割愛しますので TALON のマニュアルを参照下さい。（ボタンの PDF 出力、Excel 出力、更新 Excel 出力、Excel 更新、項目、行追加、参照、複写、削除など）また、各機能は自由にカスタマイズが可能ですので、設計内容は「機能設定画面」より対象の機能名で検索し、ご確認、カスタマイズして下さい。

7.1 倉庫マスタメンテナンス

倉庫マスタとロケーションマスタをメンテナンスするための画面です。

1つの倉庫コードに対して、最低でも1件のロケーションコードを登録して下さい。

▼ 検索条件

倉庫コード SAMPLE_SOKO_1

A 4 縦 PDF出力 Excel出力 クリア 検索

▼ 倉庫情報

項目 削除

倉庫名	サンプル倉庫 1
倉庫区分	本社倉庫
郵便番号	999-9999
住所 1	テスト住所 1
住所 2	
電話番号	
FAX番号	
テキスト情報 1	
テキスト情報 2	

▼ ロケーション情報

項目 | 検索結果: 3件 | 行目へ 1 | 行追加 | 最終行へ | 行追加 | 更新Excel出力

	ロケーションコード	ロケーション名	テキスト情報 1	テキスト情報 2
複写 削除	L01	ロケーション01		
複写 削除	L02	ロケーション02		
複写 削除	L03	ロケーション03		

ファイルを選択 選択されていません Excel更新 確定

➤ 倉庫区分

汎用コードマスタの「IMS_SOKO_KBN」の内容となりますので適宜編集して下さい。

初期データは 本社倉庫、営業倉庫、預託倉庫 となっております。

7.2 倉庫マスター一覧

登録された倉庫コードの一覧を表示する画面です。

明細の「メンテ」ボタンで倉庫マスタメンテナンスへ画面遷移します。

TALONデモユーザ LOG

[IMS]倉庫マスター一覧 倉庫の新規登録 × 閉じる

▼ 検索条件

起動時の初期条件にする 保存 削除

倉庫コード

倉庫名 倉庫区分 本社倉庫 営業倉庫 預託倉庫

A 4 縦 PDF出力 Excel出力 クリア 検索

▼ 倉庫情報

項目 | < << 1 >> > | 50 | 検索結果：3件

		倉庫コード	倉庫名	倉庫区分	郵便番号	住所 1
参照	メンテ	SAMPLE_SOKO_1	サンプル倉庫 1	本社倉庫	999-9999	テスト住所 1
参照	メンテ	SAMPLE_SOKO_2	サンプル倉庫 2	営業倉庫	999-9999	テスト住所 2
参照	メンテ	SAMPLE_SOKO_3	サンプル倉庫 3	預託倉庫	999-9999	テスト住所 3

7.3 品目メンテナンス

在庫管理する品目を登録するための画面です。一覧照会を兼ねた明細形式のメンテナンス画面としています。

品目番号、品目名、ロット管理区分などの項目を設定します。

The screenshot shows the 'IMS Item Maintenance' screen. At the top, there is a search bar and a '検索条件' (Search Conditions) section. Below that is a table with the following columns: 項目 (Item), 品目番号 (Item No.), 品目名 (Item Name), 品目グループ (Item Group), 品目種別 (Item Type), ロット管理する (Lot Management), 標準倉庫 (Standard Warehouse), 標準ロケーション (Standard Location), 品目イメージ (Item Image), and イメージ取込 (Image Upload). The table contains five rows of sample items. At the bottom, there are buttons for 'ファイルを選択' (Select File), 'Excel更新' (Update Excel), and '確定' (Confirm).

項目	品目番号	品目名	品目グループ	品目種別	ロット管理する	標準倉庫	標準ロケーション	品目イメージ	イメージ取込
複写 削除 入庫入力	SAMPLE_ITEM1	サンプル製品A		製品	<input checked="" type="checkbox"/>	SAMPLE_SOKO_2	***		<input type="checkbox"/> 削除 ファイルを選択
複写 削除 入庫入力	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B		製品	<input checked="" type="checkbox"/>	SAMPLE_SOKO_3	T-001		<input type="checkbox"/> 削除 ファイルを選択
複写 削除 入庫入力	SAMPLE_ITEM3	サンプル部品X		購買品	<input type="checkbox"/>	SAMPLE_SOKO_1	L01		<input type="checkbox"/> 削除 ファイルを選択
複写 削除 入庫入力	SAMPLE_ITEM4	サンプル部品Y		購買品	<input type="checkbox"/>	SAMPLE_SOKO_1	L01		<input type="checkbox"/> 削除 ファイルを選択
複写 削除 入庫入力	SAMPLE_ITEM5	サンプル材料Z		原材料	<input checked="" type="checkbox"/>	SAMPLE_SOKO_1	L02		<input type="checkbox"/> 削除 ファイルを選択

➤ 品目種別

汎用コードマスタの「IMS_ITEM_SYUBETU」の内容となりますので適宜編集して下さい。

初期データは 原材料、購買品、半製品、中間品、製品 となっております。

➤ ロット管理する

ロット管理する品目の場合、チェック ON にします。ロット管理しない場合のロット番号を初期値(***)として保持しています。明細の「入庫入力」ボタンで画面遷移時にロット管理しない品目の場合は、ロット管理番号には *** をセットするようにしています。ロット管理する場合は手でロット番号を入力して下さい。

※この区分を利用してシステム内で処理を分岐するなどのロジックはありません。

➤ 標準倉庫、標準ロケーション

品目に標準の倉庫・ロケーションがある場合は設定して下さい。明細の「入庫入力」ボタンで画面遷移時に倉庫・ロケーションの引数として利用します。

➤ 品目グループ

品目にグループを付けて管理したい場合はご利用下さい。

➤ イメージ取り込み

品目の画像などをアップロードすることが可能です。

8 入庫系の画面について

TALON 在庫管理システムで利用する入庫系の画面の説明となります。当マニュアルを参考に、先にマスタデータを作成してから実行して下さい。また、入庫系の画面は3つ用意しております。

■ 入庫入力：品目を初めて入庫する際に利用する画面です。ロット管理品の入庫は通常こちらの画面で入庫します。

入庫入力を行うと、「現品票」ボタンで現品票の出力が可能です。現品票にはバーコードを出力しています。

※現品票は「在庫一覧」からも出力が可能となっています。

■ バーコード入庫入力：主にロット管理しない品目を2回目以降に入庫する場合に利用する画面です。検索条件がバーコードの指定のみですので現品票のバーコードを利用した素早い入力が可能です。

■ 一括入庫入力：複数品目を一度に処理したい場合に利用する画面です。更新 Excel が利用可能です。

8.1 入庫入力

入庫の際に利用する画面です。初めて在庫を作成する場合は倉庫・ロケーション・品目・ロットを指定し登録します。

既に存在する在庫データに追加で入庫する場合は、検索条件を指定して検索後、現在庫情報が表示されますので

追加の入庫数量を指定します。確定で現在庫数量 + 入庫数量の数で在庫となります。

テキスト情報 1、2 日付情報 1、2 はメモ情報ですのでタイトルを自由に変更して利用が可能です。

確定ボタンで在庫テーブルと入出庫履歴の作成を行います。

TALONデモユーザ LOG

[IMS]入庫入力 × 閉じる

倉庫コード	SAMPLE_SOKO_3	ロケーションコード	T-001
品目番号	SAMPLE_ITEM2	ロット番号	123

現品票 クリア 検索

倉庫名	サンプル倉庫 3	ロケーション名	棚番 1
品目名	サンプル製品 B	品目種別	製品
入庫日	2019/03/11	単位	個
入庫数量		入庫単価	99
入庫金額			

現在庫情報

在庫数量	1,000	在庫単価	99
在庫金額	99,000		

テキスト・日付情報

テキスト情報 1	
テキスト情報 2	
日付情報 1	
日付情報 2	
バーコード	0000000001

確定

■単位は汎用コードマスタの「IMS_UNIT_CODE」の内容となりますので適宜追加・編集して下さい。
また、新規の登録時は単位の指定が可能ですが、既に在庫が存在する場合の単位は変更できません。

■バーコードは新規の登録時に採番される値です。採番名は「IMS_BARCODE」となります。

バーコードは在庫テーブルの中で一意の値となるように設定しています。そのため同一のロット在庫に追加入庫する場合や
出庫をする際には、このバーコードが検索条件となった画面での入庫・出庫が可能です。

→ バーコード入庫入力、バーコード出庫入力

■入庫日はシステム日付を初期表示します。過去日でも未来日でもエラーにはなりません。

■入庫数量に0 又は マイナス値は入力出来ません。

■数量・単価の小数桁は5桁まで保持可能です。

■入庫入力で利用している他機能について

[IMS]入庫処理機能	在庫テーブルを登録・更新する機能です。
[IMS]入出庫履歴作成機能	入庫履歴を登録する機能です。

■在庫テーブルの単価の計算式について

在庫テーブルの単価は以下の計算式となっております。

在庫数量 = 入庫前の在庫数量 + 今回の入庫数量

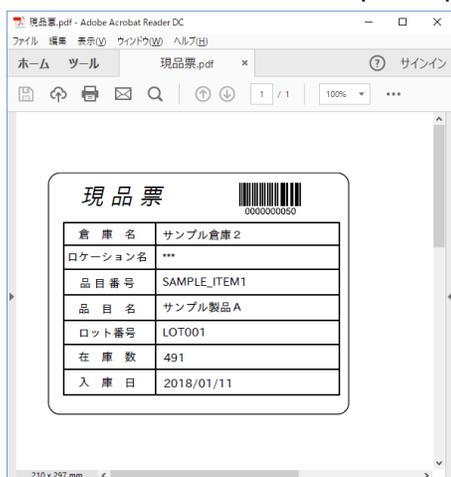
在庫金額 = 入庫前の在庫金額 + 今回の入庫金額

在庫単価 = 在庫金額 ÷ 在庫数量 ※小数5桁まで保持。6桁目を四捨五入。

■現品票は、JasperReport を利用した帳票出力ボタンです。

A4を6分割したサイズで出力されます。在庫一覧では複数のロットを指定しての一括出力が可能となっております。

※帳票レイアウトの修正はJasperReport studio を利用して下さい。



8.2 バーコード入庫入力

主にロット管理しない品目の既存在庫データに追加で入庫をする際に、バーコード値で検索して入庫が可能な画面です。現品票のバーコードで検索してデータが存在すれば、入庫数量・入庫単価・入庫金額を設定して確定します。

TALONデモユーザ LOG

× 閉じる

[IMS]バーコード入庫入力

バーコード

クリア 検索

倉庫コード	SAMPLE_SOKO_3	倉庫名	サンプル倉庫3
ロケーションコード	T-001	ロケーション名	棚番1
品目番号	SAMPLE_ITEM2	品目名	サンプル製品B
品目種別	製品	ロット番号	123
入庫日	<input type="text" value="2019/03/11"/>	単位	個
入庫数量	<input type="text"/>	入庫単価	<input type="text" value="99"/>
入庫金額			

現在庫情報

在庫数量	1,000	在庫単価	99	在庫金額	99,000
------	-------	------	----	------	--------

テキスト・日付情報

テキスト情報1	<input type="text"/>
テキスト情報2	<input type="text"/>
日付情報1	<input type="text"/>
日付情報2	<input type="text"/>
バーコード	0000000001

確定

■ バーコード入庫入力で利用している他機能について

[IMS]入庫処理機能	在庫テーブルを入庫更新する機能です。
[IMS]入出庫履歴作成機能	入庫履歴を登録する機能です。

8.3 一括入庫入力

明細入力形式の画面で複数データを一括で入庫することが可能な画面となっております。

既存の在庫データに追加で入庫することも、新規に在庫データを作成することも可能です。

また、更新 Excel 機能が備わっていますので、Excel で編集したデータを取り込むことも出来ます。

検索条件

倉庫コード [] ロケーションコード [] 品目番号 [] ロット番号 []

Excel出力 [] クリア 検索

▼ 在庫情報

検索結果: 2件 行目へ 1 行追加 [] 最終行へ [] 行追加 [] 更新Excel出力 []

参照	倉庫コード	ロケーションコード	品目番号	ロット番号	倉庫名	ロケーション名	品目名	品目種別	入庫日	単位
参照	SAMPLE_SOKO_3	T-001	SAMPLE_ITEM2	123	サンプル倉庫3	棚番1	サンプル製品B	製品	2019/03/11	個
参照									2019/03/11	

ファイルを選択 選択されていません Excel更新 確定

※更新 Excel

[IMS]一括入庫入力(在庫情報).xlsx - Excel

ファイル タブ ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 テータ 校閲 表示 開発 ヘルプ

TLN_S...	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
1	倉庫コード	ロケーションコード	品目番号	ロット番号	倉庫名	ロケーション名	品目名	品目種別	入庫日	単位	入庫数量	入庫単価	入庫金額	在庫数量	在庫単価	在庫金額	テキスト情報1
2	3	T-001	SAMPLE_ITEM2	123	サンプル倉庫3	棚番1	サンプル製品B	5.製品	2019/03/11	個	99		1000	99	99000		
3									2019/03/11								
4																	

在庫情報

準備完了

■一括入庫入力で利用している他機能について

[IMS]入庫処理機能	在庫テーブルを登録・更新する機能です。
[IMS]入出庫履歴作成機能	入庫履歴を登録する機能です。

9 出庫系の画面について

TALON 在庫管理システムで利用する出庫系の画面の説明となります。

以下に各主要画面についてそれぞれ解説します。TALON 標準で提供される機能についての説明は割愛しますので TALON のマニュアルを参照下さい。（ボタンの PDF 出力、Excel 出力、更新 Excel 出力、Excel 更新、項目、行追加、参照、複写、削除など）また、各機能は自由にカスタマイズが可能ですので、設計内容は「機能設定画面」より対象の機能名で検索し、ご確認、カスタマイズして下さい。

9.1 出庫入力

出庫の際に利用する画面です。既存の在庫を検索して出庫数を決定しますので既存の在庫が存在しない場合は利用できません。確定ボタンで出庫数量分を現在在庫情報の在庫数量から減算します。

テキスト情報 1、2 日付情報 1、2 はメモ情報ですのでタイトルを自由に変更して利用が可能です。

確定ボタンで在庫テーブルの更新と入出庫履歴の作成を行います。

TALONデモユーザ LOG

[IMS]出庫入力 × 閉じる

倉庫コード

ロケーションコード

品目番号

ロット番号

クリア 検索

倉庫名	サンプル倉庫 3	ロケーション名	棚番 1
品目名	サンプル製品 B	品目種別	製品
出庫日	<input type="text" value="2019/03/11"/>	単位	個
出庫数量	<input type="text"/>	出庫単価	<input type="text" value="99"/>
出庫金額	<input type="text"/>		

現在在庫情報

在庫数量	1,000	在庫単価	99	在庫金額	99,000
------	-------	------	----	------	--------

テキスト・日付情報

テキスト情報 1	<input type="text"/>
テキスト情報 2	<input type="text"/>
日付情報 1	<input type="text"/>
日付情報 2	<input type="text"/>
バーコード	0000000001

確定

- 出庫日はシステム日付を初期表示します。過去日でも未来日でもエラーにはなりません。

■ 出庫数量に 0 又は マイナス値は入力出来ません。また、在庫数量を超える値の指定は出来ません。

■ 数量・単価の小数桁は 5 桁まで保持可能です。

■ 出庫入力で利用している他機能について

[IMS]出庫処理機能	在庫テーブルを出庫更新する機能です。
[IMS]入出庫履歴作成機能	出庫履歴を登録する機能です。

■ 在庫テーブルの単価の計算式について

在庫テーブルの単価は以下の計算式となっております。

在庫数量 = 出庫前の在庫数量 - 今回の出庫数量

在庫金額 = 出庫前の在庫金額 - 今回の出庫金額

在庫単価 = 在庫金額 ÷ 在庫数量 ※小数 5 桁まで保持。6 桁目を四捨五入。

9.2 バーコード出庫入力

既存の在庫データを、現品票のバーコードで検索して出庫が可能な画面です。

バーコードで検索してデータが存在すれば、出庫数量・出庫単価・出庫金額を設定して確定します。

TALONデモユーザ LOG[IMS]バーコード出庫入力 × 閉じる

☰

クリア 検索

倉庫コード	SAMPLE_SOKO_3	倉庫名	サンプル倉庫3
ロケーションコード	T-001	ロケーション名	棚番1
品目番号	SAMPLE_ITEM2	品目名	サンプル製品B
品目種別	製品	ロット番号	123
出庫日	<input style="width: 80px;" type="text" value="2019/03/11"/> 📅	単位	個
出庫数量	<input style="width: 100px;" type="text"/>	出庫単価	<input style="width: 80px;" type="text" value="99"/>
出庫金額	<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>		

現在庫情報

在庫数量	1,000	在庫単価	99	在庫金額	99,000
------	-------	------	----	------	--------

テキスト・日付情報

テキスト情報1	<input style="width: 90%; height: 20px;" type="text"/>
テキスト情報2	<input style="width: 90%; height: 20px;" type="text"/>
日付情報1	<input style="width: 80px;" type="text"/> 📅
日付情報2	<input style="width: 80px;" type="text"/> 📅
バーコード	0000000001

確定

■ 出庫入力で利用している他機能について

[IMS]出庫処理機能	在庫テーブルを出庫更新する機能です。
[IMS]入出庫履歴作成機能	出庫履歴を登録する機能です。

9.3 一括出庫入力

明細入力形式の画面で複数データを一括で出庫することが可能な画面となっております。

更新 Excel 機能が備わっていますので、Excel で編集したデータを取り込むことも可能です。

※更新 Excel

倉庫コード	ロケーションコード	品目番号	ロット番号	倉庫名	ロケーション名	品目名	品目種別	出庫日	単位	出庫数量	出庫単価	出庫金額	在庫数量	在庫単価	在庫金額	テキスト情報 1
SAMPLE_SOKO_3	T-001	SAMPLE_ITEM2	123	サンプル倉庫 3	棚番 1	サンプル製品 B	5.製品	2019/03/11	1.個	99	99	1000	99	99000		

■ 出庫入力で利用している他機能について

[IMS]出庫処理機能	在庫テーブルを出庫更新する機能です。
[IMS]入出庫履歴作成機能	出庫履歴を登録する機能です。

10 倉庫間移動・在庫振替について

既存の在庫データの倉庫間移動や在庫数の増減を行う際に利用する機能となります。

10.1 倉庫間移動入力

現在の在庫が存在するデータの一覧を表示し、移動先の倉庫・ロケーションと移動数量を指定することで倉庫間の移動ができる画面となっています。

The screenshot shows the [IMS]倉庫間移動入力 (Warehouse Transfer Input) web application. The interface includes a search bar with filters for warehouse code, location code, item number, and item name. There are also checkboxes for warehouse type (company, business, warehouse) and barcode. An Excel export button is visible. Below the search area is a table with the following data:

品目番号	品目名	ロット番号	在庫数量	在庫単価	在庫金額	移動先倉庫	移動先ロケーション	移動数量	移動金額	単位	倉庫区分	倉庫コード
SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B	123	1,000	99	99,000	SAMPLE_SOKO_1	L01	1	99	個	預託倉庫	SAMPLE_SOKO_3

※更新 Excel

The screenshot shows an Excel spreadsheet titled "[IMS]倉庫間移動入力.xlsx - Excel". The spreadsheet contains the following data:

品目番号	品目名	ロット番号	在庫数量	在庫単価	在庫金額	移動先倉庫	移動先ロケーション	移動数量	移動金額	単位	倉庫区分
SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B	123	1000	99	99000					1.個	3.預託倉庫

■ 移動元倉庫からの出庫で利用している他機能について

[IMS]出庫処理機能	在庫テーブルを出庫更新する機能です。
[IMS]入出庫履歴作成機能	出庫履歴を登録する機能です。

■ 移動先倉庫への入庫で利用している他機能について

[IMS]入庫処理機能(排他無)	在庫テーブルを登録・更新する機能です。
[IMS]入出庫履歴作成機能	入庫履歴を登録する機能です。

10.2 在庫振替入力

既存の在庫データに対して、増減を行うことが出来る画面です。増減の理由を振替区分として設定します。

入力した内容は入出庫履歴に他に、振替テーブルにも記録されますので在庫振替一覧を利用して入力時の内容を確認出来ます。

TALONデモユーザ LOG振替一覧 × 閉じる

[IMS]在庫振替入力

倉庫コード	SAMPLE_SOKO_3	ロケーションコード	T-001
品目番号	SAMPLE_ITEM2	ロット番号	123

クリア 検索

倉庫名	サンプル倉庫3	ロケーション名	棚番1
品目名	サンプル製品B	品目種別	製品
振替日	2019/03/11	単位	個
増減区分	<input type="radio"/> 在庫増 <input checked="" type="radio"/> 在庫減	振替区分	
振替数量	0	振替単価	99
振替金額	0		

現在庫情報

在庫数量	1,000	在庫単価	99	在庫金額	99,000
------	-------	------	----	------	--------

その他

摘要	
----	--

確定

- 振替日はシステム日付を初期表示します。過去日でも未来日でもエラーにはなりません。
- 増減区分（在庫増／在庫減）を選択します。
- 振替数量に0 又は マイナス値は入力出来ません。また、在庫減の場合は在庫数量を超える値の指定は出来ません。
- 摘要には改行を含めた入力が可能です。

- 振替区分は汎用コードマスタの「IMS_FURIKAE_KBN」の内容となりますので適宜編集して下さい。

選択した区分により、処理結果が異なるということはありません。

売上返品	仕入返品
在庫調整	在庫処分
入庫取消	出庫取消

■ 振替テーブルの他機能について

[IMS]在庫振替機能	振替テーブルを登録する機能です。
-------------	------------------

■ 増減区分が在庫減のときに利用している他機能について

[IMS]出庫処理機能	在庫テーブルを出庫更新する機能です。
[IMS]入出庫履歴作成機能	出庫履歴を登録する機能です。

■ 増減区分が在庫増のときに利用している他機能について

[IMS]入庫処理機能	在庫テーブルを入庫更新する機能です。
[IMS]入出庫履歴作成機能	入庫履歴を登録する機能です。

※振替入力したデータを取り消す機能はありません。取り消したい増減区分と逆の増減区分を登録することで対応をお願い致します。

10.3 在庫振替一覧

在庫振替入力を行ったデータの一覧が参照できる画面です。

TALONデモユーザ LOG

[IMS]在庫振替一覧
X 閉じる

▼ 検索条件

起動時の初期条件にする

保存

削除

▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼
▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼

A 4 縦

PDF出力
Excel出力

クリア
検索

▼ 明細情報

項目 | 1 | 50 | 検索結果：3件

	在庫振替番号	倉庫コード	倉庫名	ロケーションコード	ロケーション名	品目番号	品目名	
参照	入出庫履歴	1903000001	SAMPLE_SOKO_1	サンプル倉庫 1	L01	ロケーション01	SAMPLE_ITEM1	サンプル製品A
参照	入出庫履歴	1903000002	SAMPLE_SOKO_2	サンプル倉庫 2	***	***	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B
参照	入出庫履歴	1903000003	SAMPLE_SOKO_3	サンプル倉庫 3	T-001	棚番 1	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B

11 棚卸の画面について

棚卸を行う際に利用する画面となります。棚卸の流れは以下となります。

- ①倉庫コードを指定して棚卸の開始入力（開始時の在庫データを棚卸テーブルへ退避）
- ②棚卸入力画面で、棚卸リストの出力
- ③棚卸した結果を棚卸入力画面にエントリー
- ④棚卸確定画面で棚卸結果リストを確認（開始時の在庫と棚卸入力の差異確認）
- ⑤棚卸確定画面の確定実行で差分を在庫データへ反映

11.1 棚卸開始入力

倉庫コードを指定して確定すると、その時点の在庫数量 > 0 のデータを棚卸テーブルへ登録します。

その際、棚卸管理番号を自動採番します。

[IMS]棚卸開始入力

▼ 検索条件

棚卸管理番号

クリア 検索

棚卸基準日時	2019/03/11 15:12:55
倉庫コード	SAMPLE_SOKO_1
倉庫名	サンプル倉庫 1
棚卸状態	棚卸実施中 ▼
摘要	

確定

■ 棚卸状態は棚卸実施中／棚卸完了／棚卸中止の3ステータスです。

■ 棚卸確定の処理で棚卸完了のステータスに更新されます。棚卸の取消はありませんので棚卸中止のステータスを利用することで対応して下さい。

11.2 棚卸データ一覧

棚卸のデータを参照する画面です。明細の「棚卸入力」ボタンで棚卸入力画面へ遷移します。

また、「棚卸確定」ボタンでは棚卸確定処理を起動します。

TALONデモユーザ LOG× 閉じる

▼ 検索条件

起動時の初期条件にする

棚卸管理番号 棚卸基準日 ~

倉庫コード* *倉庫名* 棚卸状態 棚卸実施中 棚卸完了 棚卸中止

▼

項目 | << | 1 | >> | 50 | 検索結果: 2件

	棚卸管理番号	棚卸基準日時	倉庫コード	倉庫名	棚卸状態	棚卸完了日時
棚卸入力 棚卸確定	1903110002	2019/03/11 15:14:10	SAMPLE_SOKO_2	サンプル倉庫 2	棚卸実施中	
棚卸入力 棚卸確定	1903110001	2019/03/11 15:13:56	SAMPLE_SOKO_1	サンプル倉庫 1	棚卸実施中	

※棚卸完了のステータスの場合は、「棚卸入力」ボタンは表示されません。また「棚卸確定」のボタンは「棚卸参照」に名称が変更されます。

11.3 棚卸入力

棚卸の開始後に、棚卸リストの出力が可能です。

実際の棚卸結果を実棚数量に入力します。実棚金額は実棚数量 * 実棚単価で計算します。

確定後の再検索で、差分数量と差分金額を表示します。

The screenshot displays the [IMS] 棚卸入力 (Inventory Input) application. At the top right, there is a user profile for 'TALONデモユーザ' and a 'LOG' button. Below this is a search criteria section with fields for '棚卸管理番号' (Inventory Management No.), 'ロケーション' (Location), '品目番号' (Item No.), and 'ロット番号' (Lot No.). The '棚卸管理番号' field contains '1903110002'. Below the search criteria are buttons for '棚卸リスト出力' (Inventory List Output), 'CSV出力' (CSV Output), and 'Excel出力' (Excel Output). A 'クリア' (Clear) and '検索' (Search) button is also present. The main area shows a table of inventory items with columns: '項目' (Item), 'ロケーション' (Location), 'ロケーション名' (Location Name), '品目番号' (Item No.), '品目名' (Item Name), 'ロット番号' (Lot No.), '実棚単価' (Actual Unit Price), '実棚金額' (Actual Amount), '差分数量' (Difference Quantity), '差分金額' (Difference Amount), '単位' (Unit), and '棚卸管理番号' (Inventory Management No.). The table contains one row with the following data: '参照' (Reference), '***', '***', 'SAMPLE_ITEM2', 'サンプル製品 B', '200', '100', '10,000', '-10', '-1,000', '個' (Piece), and '1903110002'. Below the table are buttons for 'ファイルを選択' (Select File), 'Excel更新' (Update Excel), and 'CSV取込' (Import CSV). A '確定' (Confirm) button is located at the bottom right.

項目	ロケーション	ロケーション名	品目番号	品目名	ロット番号	実棚単価	実棚金額	差分数量	差分金額	単位	棚卸管理番号
参照	***	***	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品 B	200	100	10,000	-10	-1,000	個	1903110002

ここで入力した実棚数量は棚卸テーブルへの更新のみです。まだ在庫テーブルへの反映は行われていない状態です。

そのため、棚卸確定処理をするまでは、何度でも編集は可能です。

また、棚卸開始時に在庫が 0 のデータは棚卸テーブルへの登録がされていないので、実棚が存在した場合は、新規行を追加し、データを登録して下さい。そのときの棚卸管理番号は検索条件の棚卸番号を入力します。

※棚卸リストは Excel 帳票を利用しています。出力件数が多いと処理コストがかかるため本来のパフォーマンスが発揮できない恐れがあります。件数が多い場合は、CSV 出力でデータを出力しその CSV を加工するか、JasperReport を利用するなど検討して下さい。

11.4 棚卸確定処理

棚卸データ一覧の「棚卸確定」ボタンから起動する画面です。確定ボタンで差分数量発生している明細を対象にして在庫データに対して入出庫処理が発生します。実棚数量の方が大きい場合は「棚卸差数増」、基準数量の方が大きい場合は「棚卸差数減」で入出庫履歴の作成も同時に行われます。

確定前に「棚卸結果リスト」で差分数量の確認が可能です。

[IMS] 棚卸確定処理

demo2 LOG

入出庫履歴 × 閉じる

倉庫管理番号 1903110003

棚卸結果リスト Excel出力 クリア 検索

棚卸基準日時 2019/03/11 15:52:26 倉庫コード SAMPLE_SOKO_1 倉庫名 サンプル倉庫 1 摘要

▼ 棚卸明細

検索結果: 1件

ロケーション	ロケーション名	品目番号	品目名	ロット番号	基準数量	基準単価	基準金額	実棚数量	実棚単価	実棚金額	差分数量	差分金額
参照 L02	ロケーション02	SAMPLE_ITEM5	サンプル材料Z	12345	1,000	80	80,000	800	80	64,000	-200	-16,000

確定

- 差分数量が 0 のデータは入出庫履歴の作成は行われません。
- 確定が実行されると、棚卸状態のステータスが「棚卸完了」に更新されます。「棚卸完了」「棚卸中止」のステータスの場合は、確定でエラーとなります。

※棚卸結果リストは Excel 帳票を利用しています。出力件数が多いと処理コストがかかるため本来のパフォーマンスが発揮できない恐れがあります。件数が多い場合は、CSV 出力でデータを出力しその CSV を加工するか、JasperReport を利用するなど検討して下さい。

12 照会系の画面について

入庫系のエントリー画面や、出庫系のエントリー画面などで作成・更新された在庫データを照会するための機能です。

12.1 在庫一覧

在庫テーブルを参照できる画面です。明細には様々な画面へ遷移するためのボタンを用意しています。

チェックBOXを選択して画面右下の「現品票の出力」ボタンを実行すると、現品票が出力されます。

項目	参照	入庫	出庫	振替	履歴	倉庫	倉庫名	ロケーション	ロケーション名	品目番号	品目名	単位
	<input type="checkbox"/>					SAMPLE_SOKO_1	サンプル倉庫 1	L01	ロケーション01	SAMPLE_ITEM1	サンプル製品 A	個
	<input type="checkbox"/>					SAMPLE_SOKO_2	サンプル倉庫 2	***	***	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品 B	個
	<input type="checkbox"/>					SAMPLE_SOKO_3	サンプル倉庫 3	T-001	棚番 1	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品 B	個

※用意されている明細のボタン

メンテ	在庫情報メンテナンス画面を起動します。
入庫	入庫入力画面を起動します。
出庫	出庫入力画面を起動します。
振替	在庫振替入力画面を起動します。
履歴	入出庫履歴一覧画面を起動します。

12.2 品目別在庫集計

在庫一覧のデータをロット番号を無視して品目番号で集計した一覧です。

※用意されている明細のボタン

ロット別	在庫一覧画面を起動します。ロット別の在庫を確認できます。
------	------------------------------

12.3 入出庫履歴一覧

入庫系のエントリー画面や、出庫系のエントリー画面などで在庫が登録・更新されたタイミングで発生する履歴を参照するための画面です。メニュー以外からも、色々な画面から遷移して履歴の確認が可能となっております。

■ 入出庫区分を参照することでどの画面から発生した履歴が分かるようになっております。

入庫入力	入庫入力・バーコード入庫入力・一括入庫入力での履歴です。
振替入力	在庫振替入力で在庫増を選択したときの履歴です。

倉庫間移動入庫	倉庫間移動入力で移動先の入庫履歴です。
棚卸差数増	棚卸確定処理で差数がプラスの場合の履歴です。
出庫入力	出庫入力・バーコード出庫入力・一括出庫入力での履歴です。
振替出庫	在庫振替入力で在庫減を選択したときの履歴です。
倉庫間移動出庫	倉庫間移動入力で移動元の出庫履歴です。
棚卸差数減	棚卸確定処理で差数がマイナスの場合の履歴です。

※上記の名称は汎用コードマスタの「IMS_NYUSYUKKO_KBN」のデータで管理しています。

12.4 在庫集計一覧

在庫一覧を集計したドリルダウン機能をもった画面です。

TALONデモユーザ LOG

[IMS]在庫集計一覧 X 閉じる

▼ 検索条件

起動時の初期条件にする

品目番号 ロット番号 倉庫 ロケーション

A 4 縦 PDF出力 Excel出力 クリア 検索

▼ 明細情報

項目 表示展開レベル: 1 50 検索結果: 11件

	レベル	品目番号	品目名	ロット番号	倉庫	倉庫名	ロケーション
参照	1	SAMPLE_ITEM1	サンプル製品A				
参照	2	SAMPLE_ITEM1	サンプル製品A	100			
参照	3	SAMPLE_ITEM1	サンプル製品A	100	SAMPLE_SOKO_1	サンプル倉庫1	
参照	4	SAMPLE_ITEM1	サンプル製品A	100	SAMPLE_SOKO_1	サンプル倉庫1	L01
参照	1	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B				
参照	2	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B	123			
参照	3	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B	123	SAMPLE_SOKO_3	サンプル倉庫3	
参照	4	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B	123	SAMPLE_SOKO_3	サンプル倉庫3	T-001
参照	2	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B	200			
参照	3	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B	200	SAMPLE_SOKO_2	サンプル倉庫2	
参照	4	SAMPLE_ITEM2	サンプル製品B	200	SAMPLE_SOKO_2	サンプル倉庫2	***

レベル1：品目番号で集計を行ったデータです。

レベル2：品目番号・ロット番号で集計を行ったデータです。

レベル3：品目番号・ロット番号・倉庫コードで集計を行ったデータです。

レベル4：在庫テーブルのデータそのままです（集計はしていません）

13 他機能で利用する機能

TALON 在庫管理システムで使用されている他機能呼出で利用する機能の一覧です。

下記にそれぞれの概要を説明します。

	機能 ID・機能名	概要
1	IMS_T012 入庫処理機能	入庫時に利用する機能です。在庫テーブルの登録・更新を行います。 在庫テーブルのキー項目と入庫数、入庫金額を引数として起動します。
2	IMS_T022 出庫処理機能	出庫時に利用する機能です。在庫テーブルの更新を行います。 在庫テーブルのキー項目と出庫数、出庫金額を引数として起動します。
3	IMS_T033 在庫振替機能	在庫振替テーブルを作成する機能です。
4	IMS_T013 入出庫履歴作成機能	入出庫履歴テーブルを作成する機能です。 IMS_T012、IMS_T022 とセットで呼出して利用するイメージです。

14 管理者用の在庫メンテナンス

管理者が在庫テーブルを直接メンテナンスする機能として、[IMS]在庫メンテナンス(管理者用)を用意しています。

この画面は、在庫テーブルの数量・単価・金額などの項目を直接メンテナンス可能です。

また、在庫テーブルのデータを削除したり、新規に登録することも可能です。ただし、マスタの存在チェックや入出庫履歴の作成は行われませんので扱いには注意して下さい。

■ 起動方法

メニューの「機能利用」>「機能呼出画面」を開き、機能名に「[IMS]在庫メンテナンス(管理者用)」を入力し画面上の空白部分をクリックすることで画面が起動します。



[IMS]在庫メンテナンス(管理者用)

機能名 [IMS]在庫メンテナンス(管理者用)

▼ 検索条件

起動時の初期条件にする 保存 削除

A 4 版 PDF出力 Excel出力 クリア 検索

▼ 在庫情報

項目	倉庫コード	ロケーションコード	品目番号	ロット番号	入庫数量	出庫数量	在庫数量	単位	在庫単価	在庫金額	最新入庫日
参照 複写 削除	SAMPLE_SOKO_3	T-001	SAMPLE_ITEM2	123	1,000	50	950	個	99	94,050	2019/03/08
参照 複写 削除	SAMPLE_SOKO_1	L01	SAMPLE_ITEM1	100	300		300	個	500	150,000	2019/03/11
参照 複写 削除	SAMPLE_SOKO_2	***	SAMPLE_ITEM2	200	110		110	個	100	11,000	2019/03/11

ファイルを選択 選択されていません Excel更新 確定

15 改版履歴

日付	版数	内容
2018/01/19	第 1.0 版	初版
2019/03/11	第 1.1 版	Ver5.0 に対応した画面の変更